



平成31年 3月期 第1四半期決算説明資料

平成30年 8月10日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

本資料において、平成30年3月期以前の業績情報は、未上場につき参考情報として掲載しております。

株式会社 **SIG**

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

第1四半期業績・通期計画サマリー

- 当第1四半期の売上は937百万円、前期比+14.2%の増収となり、上期計画に対する進捗率は48.5%となりました。
- 当第1四半期は経常利益は前年同期比で減益となりましたが、一時的費用である上場費用を約17百万円計上しており、上場費用を除けば実質+32.3%の増益となりました。
- 当期の通期売上は4,138百万円と前期比+8.8%の増収を見込んでいます。システム開発事業では前期比+9.8%、インフラ・セキュリティ事業では前期比+4.6%の増収を見込んでいます。

(単位：千円)	平成30年3月期	平成31年3月期				
	第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比	上期計画	下期計画	通期計画
売上高	820,747	937,178	14.2%	1,931,172	2,207,246	4,138,418
システム開発	643,277	747,949	16.3%	1,549,032	1,799,386	3,348,418
インフラ・セキュリティ	177,470	189,229	6.6%	382,140	407,860	790,000
営業利益	35,228	46,811	32.9%	89,951	223,664	313,615
経常利益	35,046	29,554	-15.7%	87,455	221,160	308,615
四半期純利益	19,048	19,569	2.7%	52,473	132,696	185,169

※当社の業績は、事業の特性上、第2・第4四半期に売上が膨らむ季節的な要因があります。

※平成30年3月期第1四半期の数値は、参考数値として掲載しています。

システム開発

前第1四半期：6.4億円 → 当第1四半期：7.5億円

公共系、製造系及びサービス系分野においては、計画通り堅調に推移しています。エネルギー系分野においては、電力系システム開発関連の体制見直しにより、僅かながら売上計画を下回る結果となりましたが、その他の分野の需要増に伴う要員増により、当第1四半期の業績は売上計画を上回りました。

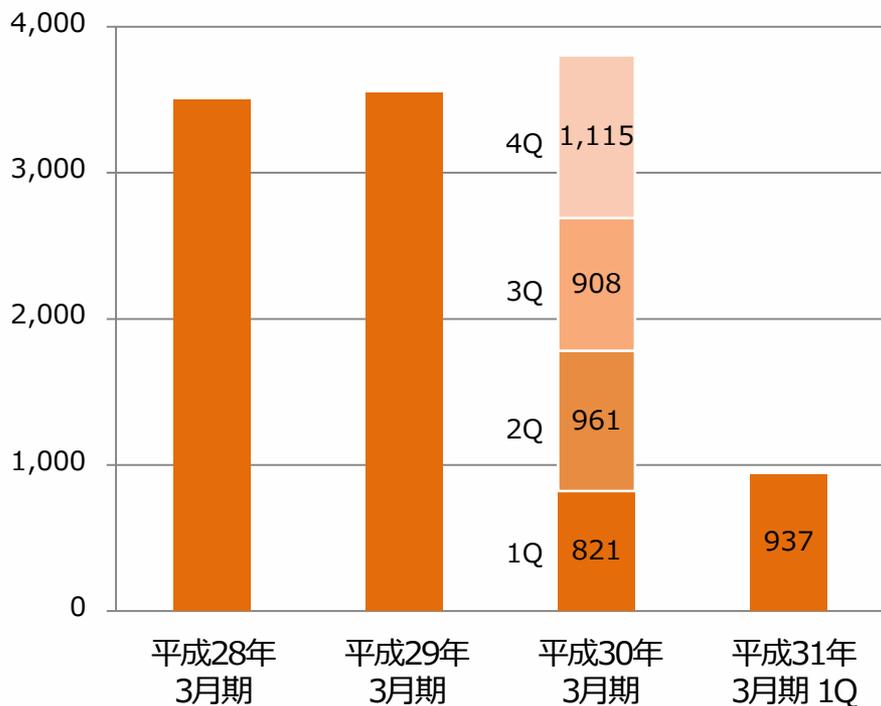
インフラ・セキュリティサービス

前第1四半期：1.8億円 → 当第1四半期：1.9億円

独立行政法人向けシステム維持保守及び官公庁向けセキュリティ脅威分析の需要増に伴う要員増のほか、証券系システム、クラウド系案件及び電力系システム開発会社へのインフラ業務支援に伴う要員増もあり、当第1四半期の業績は売上計画を達成しております。

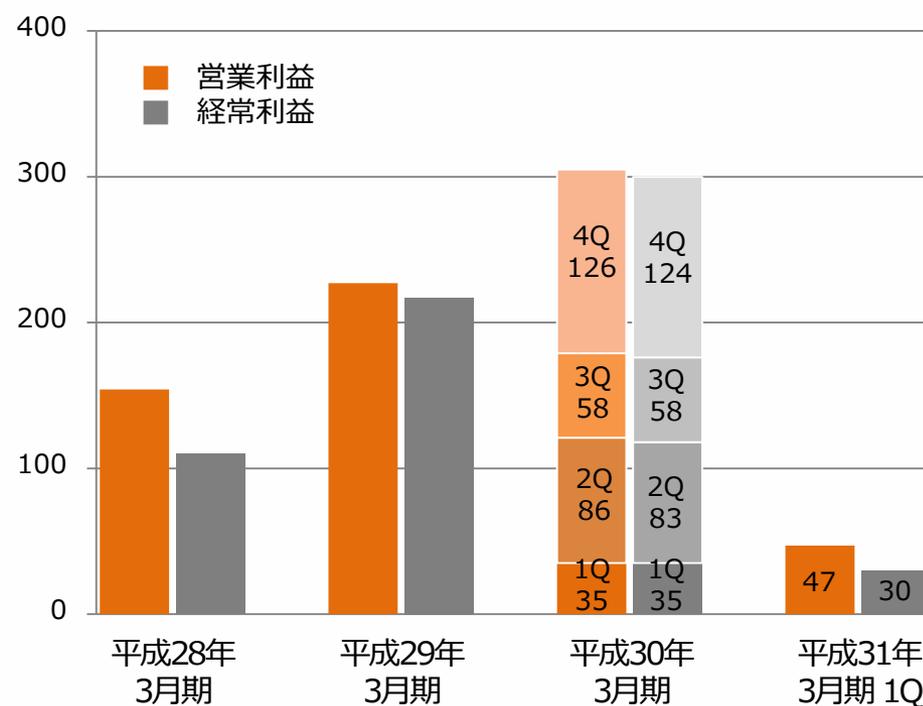
売上高

(単位：百万円)



営業利益・経常利益

(単位：百万円)



※平成30年3月期の数値は、参考数値として掲載しています。

※当第1四半期は経常利益は前年同期比で減益となりましたが、一時的費用である上場費用を約17百万円計上しており、上場費用を除けば実質+32.3%の増益となりました。

人材確保

IT人材が不足する市場予測のなか、人材不足による機会損失が危惧されております。

当社における新卒採用は年々計画を達成しているものの、パートナー企業からの供給不足やIT経験者の中途採用も厳しくなっており、人材確保は最重要課題となっております。

当社では各事業拠点を採用拠点として活用しております。またIT業界の未経験者を積極的に受け入れて社内教育システムを通じて技術者として育成することにより、より多くの人材の安定確保ができるよう企業努力をしております。

主要事業の拡充強化

当社では得意とする分野のノウハウや経験を生かし、AI、IoT、ビッグデータ及びクラウドといった新しい技術を融合して、新規事業の創出に努めております。
製造系分野での生産工場における無人化や、より高い生産性と品質向上をテーマに取り組んでおります。

貸借対照表 (要約)

(単位：千円)	前年度末 実績	当第1四半期 実績	前年度末比		主な要因
			増減額	増減率	
資産合計	1,754,255	2,057,809	303,554	17.3%	
流動資産	1,535,873	1,811,300	275,427	17.9%	
現金及び預金	990,890	1,295,908	305,017	30.8%	資本金等の増加のため。
売掛金	518,102	452,093	-66,008	-12.7%	
仕掛品	4,685	27,216	22,530	480.9%	
その他	22,195	36,081	13,886	62.6%	
固定資産	218,381	246,509	28,127	12.9%	
負債合計	1,022,034	1,030,019	7,985	0.8%	
流動負債	937,267	946,053	8,786	0.9%	
固定負債	84,767	83,966	801	0.9%	
純資産合計	732,220	1,027,789	295,569	40.4%	資本金等の増加のため。
負債純資産合計	1,754,255	2,057,809	303,554	17.3%	

損益計算書 (要約)

(単位：千円)	前第1四半期 実績	当第1四半期 実績	増減額	主な変動要因
売上高	820,747	937,178	116,431	
売上原価	653,658	740,258	86,601	
売上総利益	167,088	196,919	29,831	
販売費及び一般管理費	131,859	150,108	18,249	
営業利益	35,229	46,811	11,583	外注費の割合が減少したため。
営業外収益				
受取利息	1,010	0	-1,010	
営業外収益合計	1,010	0	-1,010	
営業外費用				
支払利息	1,116	448	-668	
上場関連費用	-	16,798	-	
その他	75	10	-65	
営業外費用合計	1,192	17,256	-16,065	
経常利益	35,046	29,554	-5,492	上場費用計上のため。
税引前四半期純利益	35,046	29,554	-5,492	
法人税、住民税及び事業税	32,157	31,360	-797	
法人税等調整額	-16,159	-21,375	-5,216	
法人税等合計	15,998	9,985	-6,013	
四半期純利益	19,048	19,569	521	